



キッズサポート

ぱれっと



「理解はしているけど気持ちがね」

「じゃあ～、〇〇しようかな」

最近の娘の口癖です。5月に2歳になり本格的に「イヤイヤ期」を迎えて、何を言っても反対の事を言って拒否をしています。こちらは、上手くごまかしながら大人の思惑に乗せようとするのですが、言葉が達者な娘はそれを「じゃあ～」のキラフレーズを使ってひっくり返して行きます。

例えば、ご飯の時に「ご飯食べるよ」と声をかけると、「イヤ」「ヤダ」などの否定の言葉をあえて使わずに「じゃあ～、あおちゃんはおえかきしようかな！」と笑顔で答えます。

私も、20年近く保育や福祉の仕事をしているので、この時期の発達の勉強はしていますし、保育士として保育園で働いている時に、1歳児クラスや2歳児クラスの担任も経験しているので、実践経験も積んでいるつもりです。

子どもが「イヤ」「ヤダ」と自己主張をする事は、自分で出来る事が増えて来の中で、「自我」の育ちによって表れてくる事なので、成長の過程にはとても大切な事なのです！……という教科書的な事は重々承知をしております！

対処方法として、子どもに「〇〇と△△どっちにする？」と選択肢を提示して「自分で選ばせてあげる」という事も分かっています！

しかし、それを軽々と飛び越えて「じゃあ～」という一言でひっくり返され、朝の忙しい時間で向き合う時間も無い状況…。

笑顔を保ちながらも時計を見て「今の時間から食べ始めないと間に合わないかも…」半分諦めながらもあの手この手で説得をする日々が続いています。

理屈ではわかっていて理解もしているけれど、感情的に受け入れられない又は整理出来ない事というのは、社会の中で人と関わりあって生活をしていると必ず訪れます。

その中で、表面上出ている「言葉」と内面に隠された「本心」は必ずズレが生じます。これは、「嘘」や「ごまかし」ではなく、人間関係を円滑に進めてく為の「技術」ですね。もし、誰もが思った事や感じた事をそのまま言葉にしていたら必ず軋轢が生まれてしまうでしょう。

娘がその場を穏やかに上手く乗り切る為の工夫をしているのだと感じながらも、余裕がある時には娘の「じゃあ～」にこちらも「じゃあ～」と返ししながら根競べをしています。

児童通所課 嵯峨憲司



キッズサポートぱれっと 5月活動報告

～ 指先のトレーニング ～

ライオンに見立て指先のトレーニングを行いました。トレーニングの目的は行う子供によって違いがありますが、生活する中で指先の力加減はとても大切です。ライオンのたてがみ(洗濯ばさみ)をとったりつけたりと楽しく行えました。



シャボン玉



プッシュポップ



ボーリング



ミニカー遊び

【7月土曜日活動予定】

- 2日 外出活動
- 9日 マナーを学ぼう！
- 16日 制作活動「ラップでオリジナルグッツ作り」
- 23日 外出活動
- 30日 外出活動
- ※18日祝日 外出活動

【事業所からのお知らせ】

- ★7月20日(水) 終業式の為、当日のお帰りは16時から送迎を行います。
- ★暑い季節になりました。7月の外出活動について、世の中でもコロナ対策を行ったうえでの外出も多くなり、公共機関や施設等の使い方も変わってきました。周辺の状況を確認して楽しい外出活動を行いたいと思います。



Instagramで活動公開中♪ 是非見て下さい (#^.^#)